「グローバルな研究活動における責任ある行為 ポリシーレポート」（仮訳・未定稿）（インター・アカデミー・カウンシル/IAP（科学アカデミー・グローバルネットワーク））から45～46ページを抜粋。ただし日本学術会議で準備中の仮訳であり、最終版では変更が加わる可能性が高い。

4. 研究者及び研究関連機関への提言

この最終章では、研究者や研究に関係する機関のための大まかな指針として、このレポートで前章までに示された提言をまとめた。

研究計画

研究者は秘密情報を保護し、他人のアイデアを利用するときはクレジットを示す責任を有する。

研究者は、研究提案書の査読に参加し、査読プロセスの基本となっている信頼を悪用しないようにする責任を有する。研究者は、利益相反があるときはそれを告知し、同業者を公平に扱ってそのアイデアの査読を行うべきである。**研究の支援者**は、そうすることが適切であるときは、国際的に活躍している者を査読者として用いるべきである。

研究者は、研究プロジェクトの計画を立てる際には、有害な帰結を含め、研究活動がもたらし得る帰結を認識するべきである。

研究の実施

研究者は、研究において責任ある行動の基準を守る主要な責任を有する。また、所属する学問分野で遵守すべき基準を採用し、適用される法規を遵守し、進んで他人とデータを共有し、学際的な共同研究において遵守すべき基準を合意しておくべきである。

研究者は、自分自身、同僚、社会に対して、ねつ造、改ざん及び盗用という重大な逸脱行為並びに研究事業を損ないかねないその他の形態の無責任な行為のいずれをも回避する義務を負っている。

研究者は、責任ある行動規範に係る高い基準を維持し、無責任な行為を目撃するか、その疑いを持ったときは、適切な措置を講じる責任を有する。

国際共同研究の初期の段階で、責任ある行動規範及び無責任な研究行為に取対処する手順に関する指針を定める必要がある。

研究成果の報告

査読者は、利益相反や偏見がある場合はそれを全面的に告知して、投稿された論文を公平かつ迅速に査定する必要がある。

研究者は、研究プロジェクトの早期の段階で、そのプロジェクトにおいて作成される論文の著者として記載する者及び著者順の決定基準について合意しておくべきである。

政策立案者及び市民とのコミュニケーション

研究者は、研究者としての権威の下に主張することは避ける一方で、研究成果に伴う不確実性を明確に評価することを含め、政策立案者や市民に対して、研究成果が政策に与える影響をはっきりと総合的に伝える必要がある。

政府、産業界又は非政府組織に対して行われる科学に関する政策助言は、査読を受けるべきであり、主張するという視点から助言を行ってはならない。

機関の責任：研究機関、公的及び私的な資金提供機関、学術誌、アカデミー

研究機関は、無責任な行為について規定する規則を、明確で十分な情報が伝わるように定め、全ての研究者、研究スタッフ、学生がこの規則に従って研究を行う訓練を受けるよう保証しなければならない。研究における不正行為の告発に対処する効果的なメカニズムを研究機関は構築すべきである。また研究機関は、教育、訓練、指導を通じて、そして無責任な行動を思いとどまらせるインセンティブを推進することにより、研究の健全性を促進する環境を生み出す必要もある。

公的及び私的な資金提供機関は、研究者に対する報酬体系として質より量を重視しかねない方針を採用することは控えるべきである。また研究者や研究機関が、質や健全性について妥協することなく、適切かつ責任を持って研究を行えるよう、十分な支援を提供すべきである。資金提供機関は、研究機関が責任ある研究行為に関する教育・訓練プログラムを開発しようとするについても支援を行うべきである。資金提供機関は、無責任な行為に対処する機構を設けることを研究機関に要請すべきである。国際共同研究を支援する場合、資金提供機関は、予め取決めを明確にし、関係者全てが確実に理解できているようにすべきである。

学術誌では、研究文献の健全性を保護するための技術的手段を用いるべきである。論文の撤回も明らかにして、撤回された論文が利用されたり、引用されないようにする必要がある。著者も学術誌も、読者に原著論文だと思わせるような複製文書の発表を回避する措置を講じ、また学術誌のインパクトファクターの増加のみを目的として行う引用は控えるべきである。

最も権威のある国家の科学団体として、各国アカデミーは、研究における責任ある行為に関連する問題について、基準の設定と普及を含め、力強いリーダーシップを発揮するべきである。またそれぞれの科学者コミュニティの内部に、研究における不正疑惑に対処する有効なメカニズムが存在するように努めるべきである。国際学術団体は、地域レベルでもグローバルなレベルにおいても、同様の役割を担うことができる。